

めぐみイエス・キリスト教会

2018年5月27日(日) 第四主日礼拝
週報「通算第407号」



2018年標題聖句

使徒の働き27章22節～26節

27:22 「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、いのちを失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。

27:23 昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、

27:24 こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

27:25 ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。

27:26 私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。」

主日礼拝毎週日曜日 午前10時～11時

聖書研究・祈禱会 毎週水曜日 午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2018年5月27日(第四主日礼拝)
午前10時～11時

司会 鈴木 竜実 牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈り】

【賛美Ⅰ】 新聖歌339「恵みの高き嶺」 p. 538

【交読文】 No.58 第Ⅰコリント第15章 p. 926

【賛美Ⅱ】 新聖歌282「見ゆる所によらず」 p. 450

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.2 「あなたと共にいつまでも」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書14章18節(p. 192上段左側)

【祈 禱】

【説 教】 《あなたがたの所に戻って来る》 鈴木 竜実 牧師

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所 ヨハネの福音書14章18節

14:18 「私は、あなたがたを捨てて孤児にはしません。私は、あなたがたのところに戻って来るのです。」

●ポイント1 「あなたがたを捨てて孤児にはしない」とは？

※ヨハネの福音書1章12節「主イエス様を信じた人々」(新約p.157下段)

1:12 しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。

※ガリラヤ人への手紙3章26節「信仰によって」 (新約p.336上段)

3:26 あなたがたはみな、キリスト・イエスに対する信仰によって、神の子どもです。

※イザヤ書49章14節～16節「私は手のひらに刻む」(旧約p.1108上段)

49:14 しかし、シオンは言った。「主は私を見捨てた。主は私を忘れた。」と。

49:15 「女が自分の乳飲み子を忘れようか。自分の胎の子をあわれまないだろうか。たとい、女たちが忘れても、この私はあなたを忘れない。

49:16 見よ。私は手のひらにあなたを刻んだ。」

●ポイント2 「私はあなたがたの所に戻って来る」とは？

※マルコの福音書16章14節「中から鍵が掛かった部屋」(新約p.94下段)

16:14 しかしそれから後になって、イエスは、その十一人が食卓に着いている所に現われて、彼らの不信仰と頑なな心をお責めになった。それは、彼らが、よみがえられたイエスを見た人たちの言うところを信じなかったからである。

※使徒の働き1章8節～11節 「オリーブ山において」(新約p.208下段)

※第 I テサロニケ4章14節～17節「号令と声とラッパ」(新約p.366下段)

4:14 私たちはイエスが死んで復活されたことを信じています。それならば、神はまたそのように、イエスにあって眠った人々をイエスと一緒に連れて来られるはずです。

4:15 私たちは主のみ言葉のとおりに言いますが、主が再び来られるときまで生き残っている私たちが、死んでいる人々に優先するようなことは決してありません

4:16 主は、号令と、御使いのかしらの声と、神のラッパの響きのうちに、ご自身天から下って来られます。それからキリストにある死者が、まず初めによみがえり、

4:17 次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らと一緒に雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主と共にいることとなります。

◎先週のメッセージの概要【聖霊のバプテスマ】

《今日はペンテコステの日です。五旬節です。これもユダヤの祭りの一つであって、過越の祭から五十日目であるところからこのように言います。

イエス様が三日目によみがえられてから四十日間、ご自身が生きておられることを弟子たちや多くの人々に示されました。そしてオリーブ山から昇天されてから十日後のことです。この日に、聖霊が降られたのです。

主はオリーブ山への道程において、十一使徒にこのように言われました。「エルサレムを離れないで、私から聞いた父の約束を待ちなさい。もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。」

さて、旧約時代にも、聖霊様はおられ、確かに働いていました。しかしまだ内住はされていなかったのです。

イエス様は十二使徒たちにも聖霊をお与えになりました。彼らは聖霊様の力と主イエス様の御名によって、病をいやし、悪霊を追い出したのです。

しかし彼らの心が主イエス様から離れた時に聖霊は去って行かれたのです。それゆえ、よみがえられたイエス様が、中からカギが掛けられていた部屋に現われて、彼らに息を吹きかけ、「聖霊を受けなさい」と言われたのです。

イエス様によって、十一人の弟子たち、またそこにいた他の弟子たちも、再び聖霊を受けたのです。しかし、この時にも内住されてはいませんでした。「私は父にお願いします。そうすれば、父はもうひとりの助け主をあなたがたにお与えになります。その助け主がいつまでも共におられる為にです。その方はあなたがたと共に住み、あなたがたのうちにおられるからです。」

そして五旬節の日、イエス様がよみがえらてから五十日目、聖霊様が降られました。そして弟子たちの中に内住され、彼らは聖霊様に満たされ、力を受け、真にイエス様の証人となったわけです。

パウロは言います。「神が私たちに与えてくださったものは、おくびょうの霊ではなく、力と愛と慎みとの霊です。」

聖霊様は、私たちが主の証人となることを願っておいでです。この方と共に働く時にこそ、私たちは大きな証をすることが出来るようになるのです。》

◎お知らせ

1. 次回の礼拝は、6月3日(日)午前10時から行ないます。また聖書研究・祈禱会は、6月6日(水)午後6時15分です。5月30日(水)はお休みとなります。